

【目指す学校像】みんなで どんなときも りかいしあえる学校

【目指す児童像】かしこい子 やさしい子 たくましい子

みどりが丘小だよ！

令和5年9月14日発行
鹿沼市立みどりが丘小学校



学校
ホームページ



記録的猛暑を乗り越えて

二学期がスタートして2週間が過ぎました。

朝、西門に立っていると、「おはようございます！」と元気に登校する児童もいれば、階段の手前で力尽き、歩道に座り込んでしまう児童もあり、様々です。

3年半にわたるコロナ禍から抜け出し、初めての制限のない夏休みを過ごせた子どもたち。思い切り遊ぶことができ燃え尽きてしまったのかもしれない。

そして、8月はすべて真夏日だったという異常な暑さは現在も続いており、そんな中、登校してくる児童たちに「登校してえらいぞ！」という気持ちになり、いつも笑顔で迎えています。

学校では、現在、熱中症対策を第一に考え、教育活動を進めております。

休日の過ごし方においても、水分補給を万全に行う指導など、ご協力のほどをよろしくお願いします。

学校評価結果から

1学期の教育活動について、児童・保護者アンケートや教職員自己評価をもとに振り返りを行い、改善策について検討しました。

【共通して高評価の項目】

- ・先生は子供を大事にしている
- ・授業はわかりやすい
- ・友達と仲良くしている
- ・友達の話は最後まで聞く
- ・衛生習慣が身についている

みどりっ子 アクションプログラム

進んで 学ぼう
笑顔であいさつ 自分から
元気に動いて、おいしく食べよう
相手に寄り添い 誠意をもって 素早く対応

【課題と思われる項目】

- ・進んで家庭学習に取り組む
- ・たくさん本を読んでいる
- ・進んであいさつをする
- ・外で元気に運動する
- ・「早寝」「早起き」「朝ご飯」

今回の調査で、地域連携に関する質問項目5つすべてにおいて、好意的な回答が90%を超えている結果が表れ、特に「教職員は、保護者の相談について誠意をもって対応している」の項目で98%という高い評価をいただけたことに感謝申し上げます。

上記の高評価と示した項目については、いずれも好意的回答が95%を超えており、学校経営の柱である『居心地のいい学校』の実現に向けて、引き続き努力を続けて参ります。

課題としては、昨年度と同様に「家庭学習」「読書」「あいさつ」があげられております。これらは、いずれも個人差が大きく、やはり家庭との連携が不可欠な項目と思われます。引き続き、子どもの成長のために学校と家庭・地域が連携して取り組めるようご協力をよろしくお願いいたします。

なお、各学年だより10月号に、自主学習の取組例を掲載いたしますので、ご参照ください。

(ホームページにも学年だよりが掲載されます)

【かしこい子部会の具体策】

- ・学年だよりに自主学習の取組を載せて、啓発を図る。
- ・読書の時間の確保や本について交流する機会をもつ。

【やさしい子部会の具体策】

- ・学校運営協議会を通じて地域や保護者と連携し、気持ちのよいあいさつができるよう指導する。

【たくましい子部会の具体策】

- ・体育委員会で遊びの企画を考え、週に1度は外遊びを計画する。
- ・児童会で「早寝・早起き・朝ごはん」について企画を考える。

生き生き教育活動

【情報モラル教育4・5年】



ネット社会に生きる子どもたちへ、インターネットをはじめとする SNS を利用する際の利点や危険性について、分かりやすく説明していただきました。

＜校長のつぶやき＞

ある研修会に参加して ～男性と女性の脳の違いを理解する～

先日、ある研修会に参加しました。

テーマは「男女の脳差によって発生する対話形式の違い」についてでした。

その話によると、対話の形式（脳の回路）は「問題解決型（男性脳）」と「共感型（女性脳）」の2つしかないらしいのです。これは、人類何万年の歴史の中で培われたもので、男性は「すぐに解決して体を休めたい」という考えが、女性は「原因や共感を求め、心を癒やしたい」という考えが無意識に遺伝情報として受け継がれているのだそうです。

＊（例）×もめごとに発展

A「あんなことがあって」～共感型～

B「君もさあ、NOって言えばよかったんだよ」～問題解決型～

A「こんなこともあって」～共感型～

B「それ、早く言ってくれば手伝えたのに」～問題解決型～

A「ひどいと思わない？」～共感型～

B「今さら言ってもしょうがないよ。グチってないで、さっさとやろう」

～問題解決型～

＊（例）◎共感型の対話の模範

A「あんなことがあって」

B「あ～、それ、ムカつくよね。分かる」

A「こんなこともあって」

B「うわ、そんなことまで。めげるよね」

A「ひどいと思わない？」

B「分かる。何もかもうまくいかない日ってあるよね。きょうは早く帰って休んだ方がいいよ」

A「うん、ありがとう」



この話を聞いて、我が家での妻との会話において、反省させられることばかりでした。自分は相談を受けても、共感することを忘れ、すぐに解決したくてかえって怒らせてしまうことが多々あります。

＜対話の奥義＞

人の話は共感で聞く
自分の話は結論から話す

分かってくれる
余裕がある

頭がいい

これを肝に銘じて生活しようと改めて思いました。講師の先生に感謝！